

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

部局名	商工観光部	部局長名	田上 正洋
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	10.1億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		39人	10人	49人
うち 自動車 運送事業	(11人)	(8人)	(19人)	

部局の使命 (組織の存在価値)	商工観光部は、商工業の活性化，優良企業の誘致，地域公共交通の整備，川内港における物流・交流の増大，観光客の積極的誘客により地域経済の発展に貢献するとともに，国際交流の促進を図り市民の国際感覚の醸成に貢献します。	組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中心市街地活性化対策などの既存商工業の活性化策の推進，新規企業立地等により，雇用機会や市民所得が増加している。 (2) 甑島航路，バス，鉄道等公共交通網の充実，及び高速交通網との連携により，交流人口が増加している。 (3) 川内港の港湾機能拡充，国際定期航路の増便等により，港湾貨物取扱量が増加している。 (4) 観光資源や温泉資源の活用が進むとともに，市民に「おもてなしの心（ホスピタリティ）」が浸透し，体験滞在型観光を中心に観光客が増加している。 (5) 市内企業の外国との経済交流が進み，貿易額が増加している。 (6) 市民レベルの国際交流が進み，市民の海外渡航者，外国人の本市来訪者が増加している。 <p>【組織の目標像】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 協調融和の部内グループ体制ともいえる明るい組織 (2) チャレンジ精神，良き競争心，長期的・地球的視点を持った職員の協同体 (3) 危機管理が徹底し，何事にも正確・迅速に対応できる組織
--------------------	---	-------	---

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
地域雇用及び中小企業対策 【商工振興課】	(1) ハローワーク川内管内の年度未有効求人倍率 0.40 倍以上 (H20年4月0.27倍)	離職者の緊急雇用及び再就職の支援 中小企業者の経営改善融資に対する利子補助等による支援 地域雇用・経済対策会議による情報収集・対策検討 商工会議所・商工会による「プレミアム商品券」発行支援	再就職サポートセンター(5月開設) 緊急保証制度保証料補助(21件 2,714千円) 地域雇用・経済対策会議開催(7月,9月開催) プレミアム商品券発行(6月発行 3億3千万円)	再就職サポートセンター登録者:33人 就職者:2人 中小企業対策利子補助(468件 32,156千円) 緊急保証制度保証料補助(50件 5,456千円) 地域雇用・経済対策会議開催(7月,9月,12月,2月開催) プレミアム商品券発行(6月発行 3億3千万円)(8月発行 5億5千万円) ・経済効果:約14.7億円 【成果目標に対する数値】 H22年2月 0.44倍 3月数値:未公表
中心商店街の活性化 【商工振興課】	(1) 中心商店街空き店舗率 15%以内 (2) 中心市街地1日歩行者通行量 山形屋前 800人以上 タイヨー前 1,200人以上 南日本銀行前 410人以上	中心市街地活性化基本計画に係る関係機関協議 空き店舗改装補助による小売業等の開業支援 (株)まちづくり薩摩川内が行うテナントミックス事業等支援 中心商店街の情報発信機能の強化支援	商業者支援事業(空き店舗改装補助)制度開始 中心市街地商店街情報表示板整備に係る事業者公募実施	中心市街地活性化協議会開催(3月 事業進捗確認) 商業者支援事業補助(4件 1,815千円) 中心市街地テナントミックス事業(現状把握等) 中心商店街情報表示板整備(42型液晶ディスプレイ12台) ・H22年1月運用開始 【成果目標に対する数値】 (1)中心商店街空き店舗率18% (2)中心市街地1日歩行者通行量 山形屋前 1,072人 タイヨー前 906人 南日本銀行前 576人

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成 2 1 年度

<p>地域公共交通網の整備 【商工振興課】</p>	<p>(1) コミュニティバス利用者数 年間 28 万人以上 (2) 自動車運送事業（甌島における市営バス）の利用者数 年間 6 万人以上</p>	<p>デマンド交通システム（予約型乗合タクシー）の導入検討 コミュニティバスの利便性向上（路線等の見直し） 川内駅バス待合所の整備検討 市内大循環バスの実証運行に向けた検討 甌島における新たな公共交通運行体系構築調査の実施（バス事業の民間委託等の検討） 霧島温泉～川内駅バス路線の研究</p>	<p>デマンド交通導入説明会（入来地域 5 地区，各 1 回） （7 月 3 0 日～ 8 月 5 日） 川内駅西口バス待合所整備 JR との設置に向けた協議 甌島における新たな公共交通体系構築調査開始 （調査期間：7 月～ 1 2 月） 霧島～川内駅バス路線 バス会社からの情報収集</p>	<p>デマンド交通導入説明会（入来地域 5 地区，延べ 20 回） （7 月～ H2 2 年 2 月） レトロ調ボンネットバス導入（3 月 3 0 日運行開始） コミュニティバス利用調査（東郷，樋脇，祁答院地区） （1 1 月～ 1 2 月実施） 川内駅西口バス待合所整備（実施設計完了） 甌島における新たな公共交通体系構築調査（完了） 市営バス車両購入（3 台） 市営バス運賃相当額助成事業（3 月 2 0 日～ 5 月 7 日） 【成果目標に対する数値】 (1) コミュニティバス利用者数 （27 万 9,226 人） (2) 市営バス利用者数 （5 万 1,922 人）</p>
<p>企業の拡張・新規立地促進 【企業・港振興課】</p>	<p>(1) 新設・増設企業 2 社以上 (2) 新規雇用者数 60 人以上</p>	<p>時勢に即した「企業誘致方針」の検討・改定 企業訪問の実施 誘致企業との情報交換実施 工業団地整備の検討</p>	<p>環境・新工ネ関連産業等を追加した企業誘致方針の改訂検討 企業訪問数 6 社 立地企業訪問数 5 1 社 8 月 県へ工業団地整備を要望</p>	<p>新工ネ関連産業等を追加した企業誘致方針の改訂(10 月) 企業訪問数 20 社 立地企業訪問数 51 社 立地企業研修会開催(2 月) 県へ工業団地整備要望(8 月) 【成果目標に対する数値】 (1) 新設・増設企業 4 社 (2) 新規雇用者数 108 人</p>

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

<p>川内港コンテナ航路の拡充 【企業・港振興課】</p>	<p>(1) 年間コンテナ取扱数 1万TEU以上 TEU = 20 フィートコンテナ 換算本数</p>	<p>ポートセールスの実施 ポートセミナーの開催 新たな輸出品目の発掘 韓国ポートセールス 友好都市「中国・常熟市」との 交易促進協議</p>	<p>ポートセールス 124社157回 ポートセミナー開催準備 (10月, 鹿児島市で予定) 中国常熟市との木材, 市の特産品 の輸出協議準備 (10月, 訪中予定) 川内港が韓国コンテナ航路の 国内初寄港地に(5月)</p>	<p>ポートセールス 177社276回 ポートセミナー開催 (10月1日, 鹿児島市) 中国常熟市への木材輸出 (H22年4月, 4TEU) 川内港が韓国コンテナ航路の 国内初寄港地化(5月) 【成果目標に対する数値】 H21年度コンテナ取扱数 7,626TEU</p>
<p>川内・甑島航路の開設 【企業・港振興課】</p>	<p>(1) 川内甑島航路に関する方針の 決定</p>	<p>国・県との補助航路協議 甑島商船株との協議 甑島市民への情報開示 県との港湾施設整備協議</p>	<p>補助航路の存続等について, 国, 県との協議実施 新船建造について, 甑島商船株 と協議実施 港湾計画改訂について, 県との 勉強会実施</p>	<p>第1回甑島航路改善協議会の 開催(3月19日) 新船建造について, 甑島商船 株と協議実施 港湾計画改訂について, 県との 勉強会実施(3回)</p>
<p>九州新幹線全線開業 に向けての観光振興 【観光課】</p>	<p>(1) 日帰り客数 年間230万人以上 (H20年 226万人) (2) 宿泊客数 年間35万人以上 (H20年 33万人) (3) 宿泊施設客室増加数 150室以上 (4) 観光ガイド登録者数 50人以上 (H20年度 45人)</p>	<p>関西・中国・北部九州セール スプロモーション実施 県外(大阪・広島・福岡)に おける観光TVCM放映 観光アドバイザーによるホス ピタリティ(おもてなし)講 習会の実施 県内主要観光地と連携した広 域観光ルートの開発, モニタ ーツアー実施 名物弁当の開発 観光ガイドブック等の作成 観光協会の法人化支援</p>	<p>セールスプロモーション (7月: 広島) ・「旅フェスタひろしま」参加 ・TV新広島, ひろでん中国新聞 旅行セールス訪問 ・県主催福岡旅行エージェント等 7社の甑島招待事業参加 (8月: 福岡, 熊本) ・メディア等12社セールス訪問 観光TVCM放映準備実施 (大阪, 広島, 福岡) おもてなし等講習会実施 (5月, 2団体) 川内大綱引を活用ツアー実施 名物弁当の募集準備</p>	<p>セールスプロモーション ・「旅フェスタひろしま」参加 TV新広島, ひろでん中国新 聞旅行訪問(7月: 広島) ・県主催福岡旅行エージェン ト等7社の甑島招待参加(7月) ・川内大綱引PR メディア等 12社訪問(8月: 福岡, 熊本) ・国内観光プロモーション活動 (メディア等6社, 10月: 大阪) ・九州新幹線全線開業プレキャ ンペーン事業テレビ出演 (メディア等15社, 11月: 京都, 大阪, 広島, 福岡)</p>

平成21年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

			<p>ガイドブック「薩摩川内えびそード100」編集委員会2回開催 観光協会法人化支援のため、県内の社団法人を調査、情報収集（指宿市・霧島市の観光協会） （財）電源地域振興センターによる「観光現地指導会」実施（9月、市比野地域）</p>	<p>・広島地区旅行エージェント・メディア等招待ランチミーティング参加（2月：広島） ・鹿児島さくらWeekにおける観光PR参加（メディア等に対する観光プレゼンテーション等、3月：大阪） 観光TVCM放映実施（大阪、広島、福岡：計80本） ・放映期間中TV出演PR実施 おもてなし等講習会実施 ・ホテル旅館組合マナー研修 ・市比野温泉での現地指導 ・京セラ協力会での研修 ・川内商工会議所午さん会 ・ウーマン創ing例会 ・市女性団体連絡協議会 ・観光協会新人スタッフ講習会 広域観光ルートの開発 ・川内大綱引・さつま町宗功寺ルート （日帰り：参加者20名） ・川内大綱引・霧島ルート （1泊2日：参加者8名） ・紅葉の霧島とラムサール条約の蘭牟田池散策ルート （日帰り：参加者57名） ・藤川天神臥竜梅まつり・東郷人形浄瑠璃観劇・さつま町ルート（日帰り：参加者78名） 薩摩川内名物弁当開発 （きびなご鮓、うなぎ弁当決定、きやんせふるさと館で販売中）</p>
--	--	--	---	--

平成21年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

				<p>観光ガイドブック「薩摩川内えピソード100」完成 海外誘客用観光パンフレット完成（日中英韓4か国語） 観光協会NPO法人化の取組みに対し情報提供実施 （財）電源地域振興センターによる「観光現地指導会」実施（3回，樋脇・甕・祁答院） 【成果目標に対する数値】 (1)延べ観光客数 年間229万人 (2)うち延べ宿泊観光客数 年間28万人 (3)宿泊施設客室増加数：7室 (4)観光ガイド登録者数：46人</p>
<p>体験滞在型観光の推進 【観光課】</p>	<p>(1) グリーン・ツーリズム体験農家等登録数 100軒以上 (2) グリーン・ツーリズム参加者数 年間1,000人以上 （修学旅行生 900人以上） （一般観光客 100人以上） (3) 甕島ブルー・ツーリズム参加者数 年間300人以上</p>	<p>市グリーン・ツーリズム推進協議会の開催 グリーン・ツーリズム体験登録農家等の確保推進活動の実施 NPO法人との連携による県外修学旅行生の受入 ブルー・ツーリズム体験受入漁家等と観光協会甕島案内所との連携促進 ブルー・ツーリズム体験ツアーの実施（6回） セールスプロモーション活動の実施</p>	<p>市グリーン・ツーリズム推進協議会4回開催 グリーン・ツーリズム体験登録農家の確保推進（9月末で登録78軒） 修学旅行グリーン・ツーリズム受入（5月，1泊2日，兵庫県加古川中学校119名） ブルー・ツーリズム体験プログラム内容等の課題調査実施（6月，観光アドバイザーほか） ブルー・ツーリズム体験モニターツアー実施（クラブツーリズム九州，3回）</p>	<p>市グリーン・ツーリズム推進協議会5回開催 グリーン・ツーリズム体験登録農家の確保推進 修学旅行グリーン・ツーリズム受入（中学校1校，高校3校，計4校。453人受入） ・5月30～31日（1泊）兵庫県加古川中学校119人） ・11月11～12日（1泊）京都市立塔南高等学校153人） ・11月29～12月1日（2泊）埼玉県立鳩ヶ谷高等学校104人） ・12月1～3日（2泊）埼玉県立和光国際高等学校77人）</p>

平成21年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

				<p>ブルー・ツーリズム体験プログラム内容等の検証実施 (6月,観光アドバイザー,甌島案内所長同行) ブルー・ツーリズム体験モニターツアー実施 ・クラブツーリズム九州:3回,34人 ・下甌島自然探索トレッキング(市観光協会):1回,20人 セールスプロモーション活動の実施 ・旅行エージェント等招待(2月,大阪・熊本5人参加) ・甌島誘客宣伝(5回,京都,大阪など)</p> <p>【成果目標に対する数値】 (1)グリーン・ツーリズム体験農家等登録数 3月末,96軒 (2)グリーン・ツーリズム参加者数 年間914人 (3)甌島ブルー・ツーリズム参加者数 年間205人</p>
年度中間総括	概ね計画どおりに推移しているが,地域経済・雇用状況は依然厳しい状況にあり,下半期において新規企業誘致,既存商工業者支援,観光客誘致等による地域経済活性化を,さらに積極的に進める必要がある。			
年度末総括	概ね計画通り達成している。目標に至らなかった事項は事業内容等の検証を行い,次年度において目標達成できるように努める。なお,有効求人倍率,新規・増設企業数及び新規雇用者数等については目標を上回った。			